

アドミッション・ポリシー (求める人材像と求める力)

融合理工学系では、次のような方々を求めます。

- ・理工系基礎学力ならびに人文社会科学の知識を有し、それらを活用した実践的な問題解決力を有していること。
- ・修得した専門知識に新たな知見を加えて自在に活用できること。
- ・国際的なコミュニケーション力、協働力の十分な基礎ができていること。
- ・高い志を持ち、知のフロンティアを自ら開拓し、国際的に通用する科学・技術の専門家リーダーとして人類と社会の持続的発展に貢献する強い意志を有していること

アドミッション・ポリシー (入学者選抜方針)

学位論文 (またはこれに代わる研究業績) による研究能力に関わる試問, 融合理工学系の専門に関する学力, 英語による語学力などについて, 口頭試問などにより, 融合理工学系が求める能力と適性を有する人材を選抜します。

カリキュラム・ポリシー (教育内容)

本コースでは, 「ディグリー・ポリシー (修得する力)」を身につけるために, 次のような内容の学修を行う。

A) 地球環境共創分野の専門基礎学力の修得 (修得能力 I)

地球環境共創分野の土台となる専門学力の修得により, 問題解決のためのツールと方法論の理解を深め, 問題設定力を涵養する。

B) 地球環境共創分野周辺の広い専門学力の修得 (修得能力 I, II)

1つの専門分野だけではなく, いくつかの専門分野にまたがる学際的専門学力を修得する。

C) 問題を自ら設定し解決する力の修得 (修得能力 II, III)

社会・環境・国際プロジェクトに関する基礎的講義および演習を通じて, 技術者倫理に配慮しながら問題を解決する実践的問題解決能力の修得・向上を図る。

カリキュラム・ポリシー (教育内容)

D) 研究分野の最新動向を把握・体系化する能力 (修得能力Ⅱ, Ⅲ)

専門分野における自らの研究の位置づけと貢献を理解し、研究の最新動向を把握するとともに、専門分野の発展に資する学問の体系化に寄与できる研究力を修得する。

E) 実践的な国際的コミュニケーション力の育成 (修得能力Ⅲ)

研究室における日本人学生と留学生の混在学習により、コミュニケーション力を涵養する。また、国際インターンシップ等の実習を通じて実践的国際協働力を修得する。

ディグリー・ポリシー (修得する力)

地球環境共創コースでは、次のような力を修士課程より高い基準で修得することができる。

- 広い分野に応用できる最先端技能力
 - ・高度な論理・数学・解析技術を駆使した問題解決力
- 既存の学問分野に囚われない高度な应用能力
 - ・社会に内在する困難な問題を新たに発掘し解決できる能力
 - ・新たな技術・価値・概念を創出する能力
- 国際的リーダーとしての高度な人間力
 - ・国際的リーダーシップ力
 - ・社会的責任感・倫理観
 - ・自己および組織展開力